

プロフィール（自己PR）

私は、部活動の地域移行の動向や特性、課題や方策に関して調べたり考えたりする活動に取り組んで参りました。その過程で、部活動の地域移行には、「子どもがより専門的な指導を受けることができる」、「教職員が授業の準備等により専念できる」といった肯定的な影響とともに、「経済的・人的な負担の増大により、部活動と同様の活動を継続することが難しい家庭の子どもに影響が生じるのではないか」、「部活動があるから登校している子どもが新たに不登校になるのではないか」といった課題が懸念されることがわかりました。一方、地域移行を契機に、子ども自身が計画の段階から参加し子どもとともに地域活動を実行したり、学校では普通学校と特別支援学校等に分離されている子どもたちが地域において一緒に学び育ち合う経験を通して地域の共生社会の発展に寄与したりする可能性に期待されることもわかりました。これらの理解に基づいて、後述の課題1および課題2の実践に取り組むことができると考えております。

また、私は、学校における福祉職との連携に関して調べたり考えたりする機会にも恵まれました。学校では、「就学援助制度」をはじめとして、「子どもの学習・生活支援事業」、放課後等デイサービス等における「障害児通所支援」（教育と福祉と家庭との連携「トライアングル」プロジェクト）、療育の専門家が学校等を訪問し専門的な支援を行う「保育所等訪問支援」にわたる制度に基づいた支援が活用されつつあるところです。学校等を訪問しました際にもうかがわれたことですが、子どもの多様化に対応するため、福祉に係る専門職や専門機関との連携・協働がより重視される現状にあるように思われます。実際に、福祉の領域では、近年にも、家庭支援専門相談員（ファミリーソーシャルワーカー）等の専門職や、こども家庭センター等の、新たな制度的支援が発展されつつあり、これらの動向を反映した区立学校における福祉的支援の促進にも期待されるところです。このような理解の基に、学校における福祉的支援の必要性や特性、その活用の実際や課題、その支援のための制度的および実践的な方策等について取り組むことにより、地域における多様な子どもや家庭、そして、学校や教職員の方々の支援に少しでも力を尽くすことができると考えております。

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

1.（課題） 部活動の地域移行を通じた地域共生社会の推進について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

- ・区立学校における学校ごとの部活動の地域移行の方針や動向を調査する。
- ・部活動の地域移行による子どもの課題について調査する。
- ・地域における部活動の地域移行に係る団体や専門職等の特性や実際を調査する。
- ・経済的/人的課題、不登校、病気や障害のある子ども等とともに地域において学び育ち合う活動の可能性やその実現の支援や課題について探る。

2.（課題） 多様な子どもの地域における社会活動の支援について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

- ・経済的/人的課題、不登校、病気や障害のある子ども等の地域活動に係るニーズ、その実現のための個人的・社会的課題について調査する。
- ・他の地域における好事例に関する内容や特性、その実現に係る条件を調査する。
- ・地域における課題を子どもとともに解決することを支援する実践や制度に関する可能性を探る。

3.（課題） 区立学校における福祉的支援の発展について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

- ・学校における福祉的支援のニーズや実態を調査する。
- ・学校において連携・協働に期待される地域の福祉的支援について調査する。
- ・学校の福祉的支援を実現/発展させるための地域における制度および実践に係る条件を探る。
- ・学校において福祉的支援をより活用しやすい制度の制定の可能性について探る。

教育委員に応募する理由（横書きで記入してください）

	中	野	区	に	は	、	区	民	公	益	活	動	推	進
協	議	会	等	の	よ	う	に	、	住	民	が	地	域	の
問	題	を	発	見	し	、	そ	の	問	題	解	決	に	取
り	組	む	こ	と	を	制	度	的	に	支	援	す	る	、
他	の	地	方	自	治	体	に	誇	れ	る	仕	組	み	が
あ	り	ま	す	。	教	育	に	関	し	て	も	、	算	数
へ	の	興	味	・	関	心	を	地	域	に	お	い	て	も
育	て	る	活	動	や	、	不	登	校	の	子	ど	も	の
地	域	に	お	け	る	居	場	所	づ	く	り	を	支	援
す	る	活	動	等	が	実	践	さ	れ	て	き	ま	し	た。
	教	育	委	員	の	制	度	は	、	第	二	次	世	界
大	戦	前	の	歴	史	的	反	省	を	ふ	ま	え	て	、
教	育	行	政	に	住	民	と	と	も	に	取	り	組	む
制	度	と	理	解	し	て	お	り	ま	す	が	、	今	日
の	学	行	に	お	け	る	子	ど	も	や	教	育	に	係
る	課	題	の	解	決	に	は	、	住	民	の	地	域	の
力	を	活	用	し	た	連	携	・	協	働	が	さ	ら	に
重	要	に	な	り	つ	つ	あ	る	よ	う	に	も	思	わ
れ	ま	す	。											
	住	民	と	と	も	に	ま	ち	づ	く	り	が	発	展
さ	れ	て	き	ま	し	た	こ	の	中	野	区	に	お	き
ま	し	て	、	部	活	動	の	地	域	移	行	の	よ	う
な	教	育	制	度	の	変	更	に	伴	う	地	域	の	子
ど	も	た	ち	の	課	題	に	つ	い	て	、	多	様	な
子	ど	も	の	支	援	の	発	展	の	き	っ	か	け	に
な	る	よ	う	な	解	決	に	努	め	て	参	り	た	い
と	考	え	て	お	り	ま	す	。						

※1枚以内で記入してください